

令和8年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	国語	科目名	論理国語	単位数	3	履修学年・クラス	2ABC
担当者		使用教材	新編論理国語(大修館書店)				
学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。						
	<p>○実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。</p> <p>○論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>○言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言語を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>						
学習方法	○様々な文章を読み、語句の意味を調べながら文章を正確に理解する。						
	<p>○文章中の接続表現、対比関係、具体化、抽象化に着目し、構成・展開をふまえて内容を理解する。</p> <p>○要旨をまとめたり自分の考えを書いたり話し合ったりして思考力や表現力を伸ばす。</p> <p>○語句や表現方法などについて理解したことを繰り返し練習し、自分で活用できるようにする。</p>						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨				
	知	知識・技能(技術)	生涯に亘って社会生活に必要な国語(言語)の知識や技能を習得し、「読む」「書く」「聞く」「話す」の各領域における実践的な能力を高めている。				
	思	思考・判断・表現	論理的に考える力や文脈に応じた判断力、適切かつ効果的な表現力が身につけている。				
	態	主体的に取り組む態度	習得したことを「断片的な知識の記憶」に留めず、積極的に活用しようとしている。				
※定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。							

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			知	思	態		
前期中間	知の登山、知の水路	学ぶことについて	○	○	○	本文中の語句の意味や言葉の使われ方について、正確に理解し内容を理解している。	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 説明表現 指名音読 課題提出 定期考査
	「論理的な人」とはどういう人か	論理について	○	○	○		
	ウサギの耳はなぜ長い？ 記号的メディアと物理的メディア	具体例の役割	○	○	○		
前期末	デジタル地図から見える世界	対比の関係について	○	○	○	本文中の語句の意味や言葉の使われ方について、正確に理解し内容を理解している。	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 説明表現 指名音読 課題提出 定期考査
	人工の自然	主張と根拠の関係について	○	○	○		
	「考える葦」であり続ける 量の時代から質の時代へ	文章と統計資料の読み取り	○	○	○		

後期中間	対話の精神	対比の関係について	○	○	○	本文中の語句の意味や言葉の使われ方について、正確に理解し内容を理解している。	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 説明表現 指名音読 課題提出 定期考査 	
	和の思想、間の文化	具体例の役割	○	○	○			
	未来の地図帳	現代社会を様々な視点で捉えた文章を読み、視野を広げる	○	○	○			筆者の考えを理解したうえで自分の考えを表現している。
	人類の進化から考える「心」の誕生	問題提起と答えの関係	○	○	○			
後期末	ロボットに心はあるか	同じテーマで書かれた文章を比べる	○	○	○	本文中の語句の意味や言葉の使われ方について、正確に理解し内容を理解している。	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 説明表現 指名音読 課題提出 定期考査 	
	クオリアと心		○	○	○			
	政治の本質	現代社会を様々な視点で捉えた文章を読み、視野を広げる	○	○	○			筆者の考えを理解したうえで自分の考えを表現している。
	補助線を引きながら考える	読み取ったことを踏まえ、自分の考えを深める	○	○	○			